固体構造解析学　第11回　課題

規格化されたLaue関数：

1．と増加させたとき，

の範囲を間隔で をグラフにすると次の図1のようになる。

の範囲を間隔で をグラフにすると次の図2のようになる。

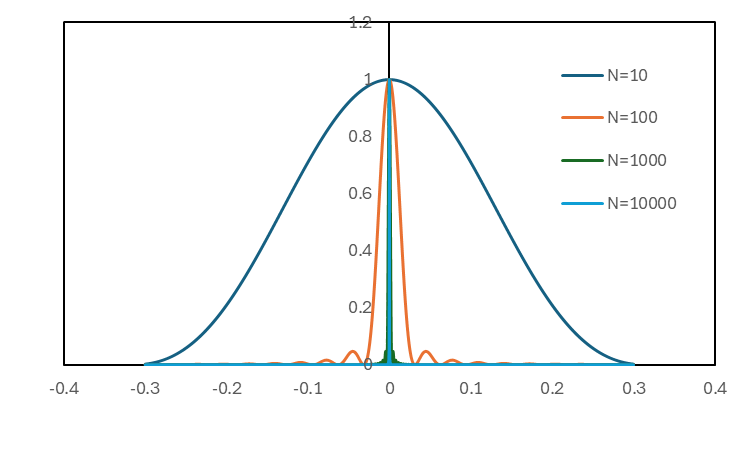


図1

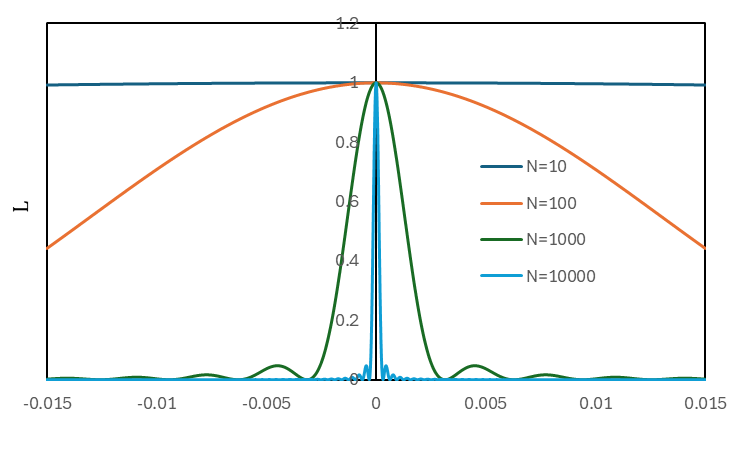


図2

2．の原点近傍のピークのFWHMを求めると表1のようになる。

表1



３．2で求めたFWHMを横軸 ,縦軸 のグラフに表した。

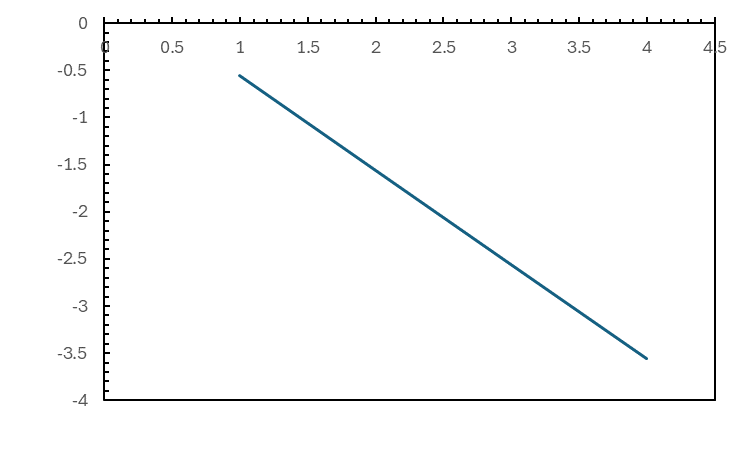


図3